

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 猿猴川高潮対策事業に伴う業務委託その2

事業名 または 工事名 一級河川太田川水系

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	R1-No. 2	調査位置	広島市南区仁保二丁目地内	北 緯	34° 22' 12.82"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020年 1月 6日 ~ 2020年 1月 9日	東 経	132° 30' 2.03"
調査業者名		主任技師		現代場代理人	
コ ー ー 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. -0.42m	角 度		方 位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	21.00m	使用機種	試錐機 東邦D0-48	エンジン	ヤマハ NFD-10
		ポンプ	東邦BG-3C		

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取	室内位置試験	削 孔 月 日				
												深度-N値図								深 度 (m)	試 料 取 出 方 法		
												N 値	100mmごとの打撃回数	200mmごとの打撃回数	300mmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 取 出 方 法				
1	-1.12	0.70	表土・礫混じり砂	表土・礫混じり砂	黄 灰					細・粗砂も混じり、粒径不均一、礫はφ5~60mm程度で貝殻片を多量に含む		1.15	4	2	3	9	300	1.15	P2-1	◎	粒状		
2	-2.02	1.60	礫混じり砂	礫混じり砂	灰	rd2				砂は細~中砂となる φ20~50mm程度の角礫となる 全体に貝殻片を混入		1.45	1	1	1	3	300	1.45	P2-2	◎	粒状		
3	-3.12	2.70	シルト混じり砂	シルト混じり砂	青 灰	rd1				粒径均一な細砂である 貝殻細片及び腐植物を混入する		2.15	1	1	1	3	300	2.15	P2-2	◎	粒状		
4	-4.22	3.80	砂	砂	暗青 灰	rd3				細・粗砂も混じり、粒径不均一 貝殻片を少量混入		3.45	3	4	5	12	300	3.45	P2-2	◎	比重大初度液性限界三種 (CI)		
5	-5.15	4.35	シルト質砂	シルト質砂	暗青 灰	rd1				微細~細砂主体 腐植物を少量混入する 全体に臭気あり 6L~5.00m付近より粘土層を不規則に混入		4.45	1	1	1	2	3	300	4.45	P2-1	◎	粒状	
6	-6.45	5.15	シルト質砂	シルト質砂	暗青 灰	rd1				微細~細砂主体 腐植物を少量混入する 全体に臭気あり 6L~5.00m付近より粘土層を不規則に混入		5.15	12	1	1	14	300	5.15	P2-5	◎	粒状		
7	-7.45	6.45	シルト質砂	シルト質砂	暗青 灰	rd1				微細~細砂主体 腐植物を少量混入する 全体に臭気あり 6L~5.00m付近より粘土層を不規則に混入		6.45	1	2	2	5	300	6.45	P2-3	◎	比重大初度液性限界三種 (CI)		
8	-8.42	8.00	砂混じりシルト	砂混じりシルト	青 灰	rc1				砂は細砂主体 全体に貝殻片混入		7.15	1	1	1	3	300	7.15	P2-6	◎	粒状		
9	-9.90	9.00	砂混じりシルト	砂混じりシルト	青 灰	rc1				砂は細砂主体 全体に貝殻片混入		8.40	0	0	0	0	400	8.40	P2-8	◎	粒状		
10	-10.52	10.10	シルト混じり砂	シルト混じり砂	青 灰	rd1				細・中砂を主体とし、下層に従い粗砂が混入する 貝殻片を少量混入		9.45	0	0	0	0	150	9.45	P2-9	◎	比重大初度液性限界三種 (CI)		
11	-11.97	11.55	シルト混じり砂	シルト混じり砂	青 灰	rd1				細・中砂を主体とし、下層に従い粗砂が混入する 貝殻片を少量混入		10.35	1	1	1	2	310	10.35	P2-1	◎	比重大初度液性限界三種 (CI)		
12	-13.02	12.60	砂質粘土	砂質粘土	青 灰	rc2				流れマサ土状を呈す		11.45	1	1	1	3	300	11.45	P2-1	◎	比重大初度液性限界三種 (CI)		
13	-13.45	12.95	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		12.15	1	2	3	6	300	12.15	P2-1	◎	粒状		
14	-14.45	13.45	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		13.15	3	5	7	15	300	13.15	P2-1	◎	粒状		
15	-15.42	15.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		14.15	3	5	7	15	300	14.15	P2-1	◎	粒状		
16	-16.42	16.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		15.15	5	7	10	22	300	15.15	P2-1	◎	粒状		
17	-17.15	17.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		16.15	9	16	17	42	300	16.15	P2-1	◎	粒状		
18	-18.15	18.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		17.15	5	5	8	18	300	17.15	P2-1	◎	粒状		
19	-19.15	19.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		18.15	5	7	11	23	300	18.15	P2-1	◎	粒状		
20	-20.15	20.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		19.15	7	11	15	33	300	19.15	P2-1	◎	粒状		
21	-21.42	21.00	強風化花崗岩	強風化花崗岩	黄 灰	rd3				強風化した花崗岩 (アップライト) 原岩組織は残すが、岩芯まで風化している 泥状でシルト質細砂状となる 指圧により容易に砕け、細粒砂状となる		20.15	9	15	19	43	300	20.15	P2-2	◎	粒状		
										広島花崗岩類の強風化帯で土砂状となる 一様に風化した粗粒砂状を呈す 原岩組織は残すが、岩芯まで強風化している 石英粒子は残すが、雲母・長石は粘土化している コア指で押すと容易に砕け砂質土状となる 6L~16.90~18.80m間はアップライトにより変質し、粘土化している		21.15	10	14	20	44	300	21.15	P2-2	◎	粒状		